

暮らしを豊かにする

地域創生の

チカラを身につける。

Faculty of Agriculture

農学部

生物資源科学科

- ▶ 生物科学コース
- ▶ 食資源環境科学コース
- ▶ 生命機能科学コース
- ▶ 国際・地域マネジメントコース

生物科学コース
塚元 あすか 長崎県 香岐高等学校出身

〈学部の特徴〉

21世紀は、人類が大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会へと大転換する時代です。「食料」「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」等どれをとっても、今ほど人類がその重要性を強く意識した時代はないでしょう。そして、これらの課題こそ農学が得意とするところであり、時代は農学の発展を必要としています。農学は、理系から文系にわたる分野を含む、基礎から応用に及ぶ総合科学です。農学部には、「食料」「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」を対象とするさまざまな教育研究分野が揃っています。本学部だけでミニ総合大学といっても過言ではありません。入学すれば皆さんの希望する分野がきっと見つかるでしょう。

■ 教育目的

農学部では、農学および関連する学問領域において、多様な社会的要請に応える深い専門性と幅広い素養を身に付け、国内外での農業および関連産業の発展に貢献する人材を養成することを目的とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



食品や化粧品の開発に携わり 人を元気づけ、笑顔にする仕事がしたい。

農業だけでなく、食品、化粧品、薬などの幅広い分野を学べることから農学部を希望しました。実際に入学してから、興味を持った分野のコースを選択できる点にも魅力を感じました。私は生命機能科学コースを選択。食品化学、食品衛生学、分子生物学、栄養化学などを学び、食品衛生管理者と食品衛生監視員の資格取得も可能です。また、たくさんの友だちと出会ったことで自分自身の成長も感じています。入学時には夢や目標が定まっていませんでしたが、2年間の講義を通して食品や化粧品の開発に興味を持つようになり、研究職を目指したいと考えようになりました。そのためにも、まずは大学院への進学が目標です。

生命機能科学コース
副島 加蓮 長崎県 佐世保北高等学校出身

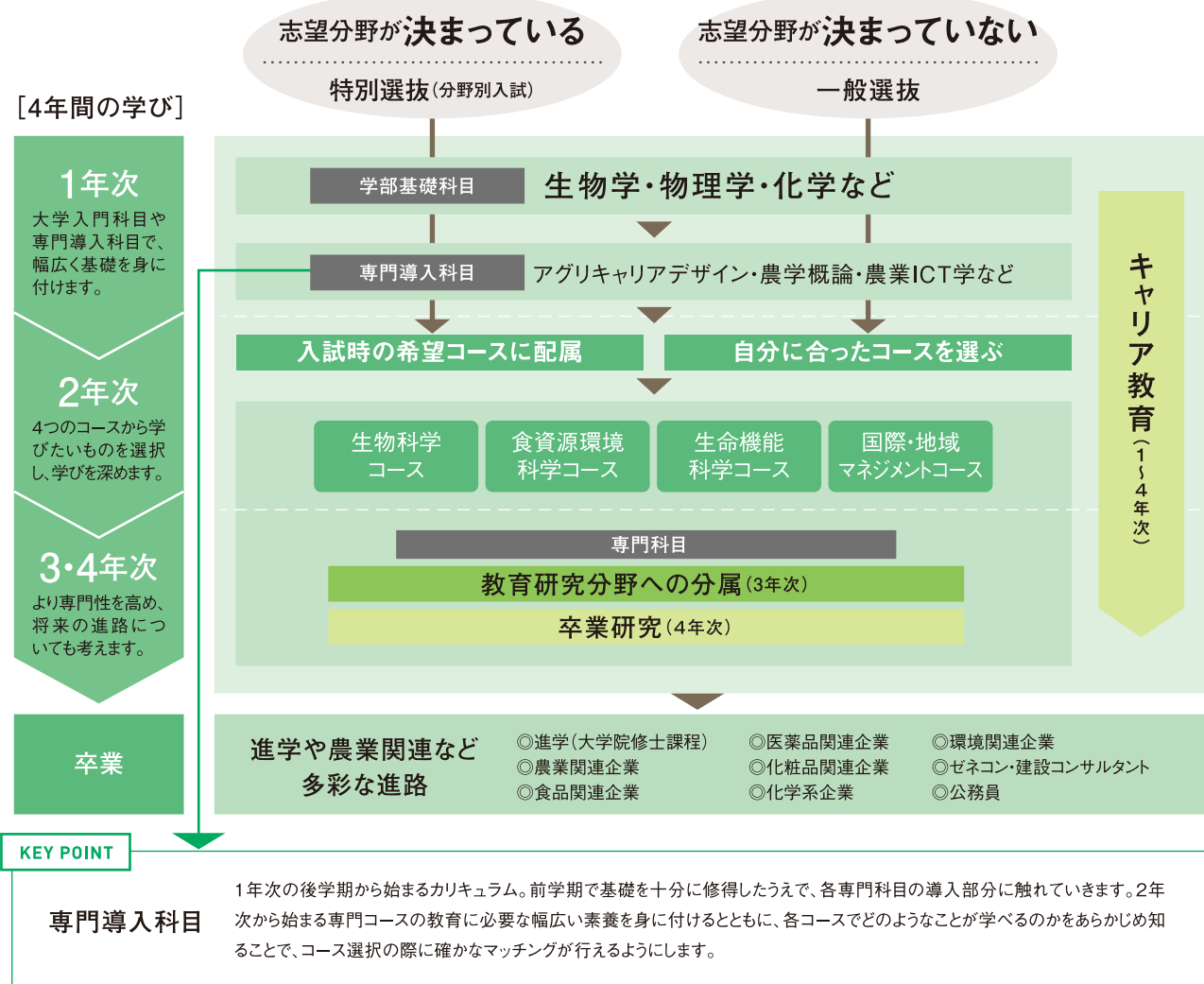
インタビュー動画も
ご覧いただけます



充実の設備で実践学習 体験し、学び、身につける

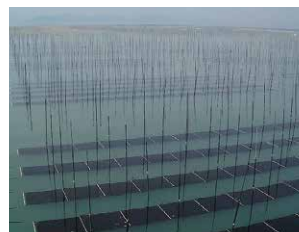
01 1年次に各専門科目の基礎を学びながら 自分の希望コースをじっくり選択

農学部には「食料」や「生命」「環境」「情報」「エネルギー」および「地域社会」など、それぞれ特色が異なるさまざまな研究分野があります。そこで、まず1年次に農学の基礎科目である生物学、物理学、化学を必修とし、深い専門性を身に付ける素地を構築。専門導入科目で農学に関する基礎知識を幅広く十分に修得したうえで、2年次の専門コース選択へと進みます。



02 佐賀県を代表する「ノリ」「大豆」や「米」を 研究する地域特化型農水産研究

佐賀県域の農水圏生物生産や利用技術等をより高度にしていくための試みが、地域特化型農水産研究開発です。さまざまな問題を抱える地域の農・水産業の課題解決・発展を図ることを目的としています。佐賀県の主力農産物のひとつである米や大豆についての研究を進め、佐賀大学発の農産物ブランド化戦略を行っているほか、水産学では水産物の高品質・安定生産を目指して、ノリや二枚貝等の遺伝子解析や代謝解析を実施。佐賀県のノリを中心とした水産業を振興するため、ノリ研究に特化した人材の育成・輩出も行っています。佐賀県が誇る農水産物をさまざまな角度から研究することで、地域の発展に寄与します。



03 「米」や「大豆」の品種改良の取り組み 自分たちでオリジナル品種の開発も

多様化する消費者ニーズに対応するために、米や大豆などのオリジナル品種の育成を目指して、学生自ら育種技術の開発や栽培技術の開発に取り組みます。附属アグリ創生教育研究センターで、実際にフィールド研究や遺伝子解析を応用した先端的な研究を行うことで、実践的な力も身に付けることができます。



農学部開発のオリジナル品種・商品

計画・実行・評価・改善を
繰り返して育てる「オリジナルダイズ」

遺伝資源を活用した画期的品種の育成を目指し、機能性ダイズ品種の開発に着手。栽培試験やデータ解析、植物工場におけるコストと生産物品質の検証、その後さらに改善を繰り返して、独自性が高い高付加価値なブランド品種育成に取り組んでいます。



佐賀大学ブランドとして
親しまれている清酒「悠々知酔」

毎年、地元の酒造会社と協力して行う佐賀大学ブランドの清酒。原料の米選びから酒造会社との打ち合わせまで農学部の生徒が主体となって行います。「The SAGA認定酒」として一般の方にも販売されており、毎年多くの人々から好評をいただいています。



04 広いフィールドから 最新鋭の植物工場まで完備

生物資源教育研究センター / アグリファシリティ部門



久保泉
キャンパス

圃場を利用して作物や
果樹の栽培研究を実践的に学習。

広いフィールドを使っての農業学習のほか、食品加工などのプログラムにも取り組みます。



唐津
キャンパス

種々の天然資源に含まれる
機能性成分を研究。

唐津キャンパスでは、様々な天然資源から、人類の健康に資する成分の解析を進めています。



本庄
キャンパス

最新の施設生産技術を
学ぶ植物工場。

農業新時代に対応するために開設された太陽光型植物工場。先端農業に触れられる実習施設です。

教員紹介

後藤 文之 教授
施設園芸学

上埜 喜八 准教授
作物生産学

江原 史雄 准教授
動物行動管理学

川添 嘉徳 准教授
ケミカルバイオロジー

福田 伸二 准教授
アグリ資源開発学

松本 雄一 准教授
機能性植物資源学



株式会社オプティム
PTSサービス開発部・
PTSサービス開発ユニット
當間さん
生物資源科学科 2023年3月卒業
[業務内容]
Webエンジニアとしてシステム設計やプログラミングに携わります。

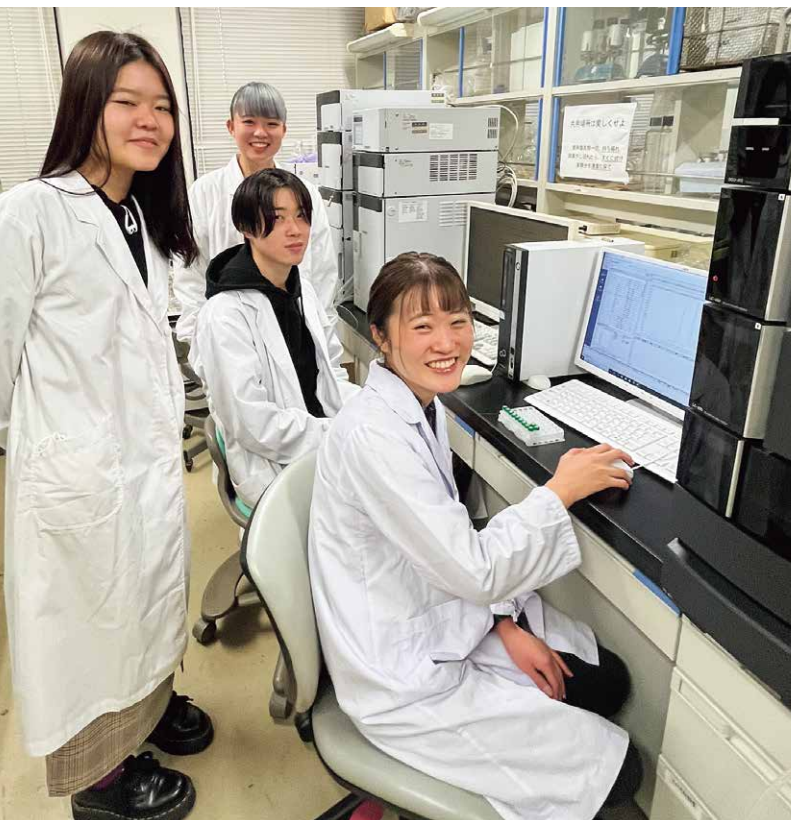
学生時代に学んだ技術も経験も活かしている。 農業分野のDX化に貢献できる人材を目指して。

現在私はITエンジニアとして、農業をドローンで適期に散布するためのシステム開発に携わっています。このシステムは防除作業を効率化し、農業散布の効果を最大限にすることを目的としています。学生時代にプログラミングに触れた経験は、入社後のシステム開発業務をスムーズに始める上で非常に役立ちましたし、研究活動の経験、卒論をまとめる過程で培った論理的な思考力は、現在の仕事の大きな支えとなっています。さらに、大学生活で一番印象に残っているサークル活動で培った協調性や問題解決能力もまた、現在の業務に非常に役立っています。現在携わっている農業分野ではDX化が進んでいますが、まだまだ多くの課題があります。私はこれからも現場の声に耳を傾けながら、技術を通じて社会の課題解決に貢献できる人材になりたいと考えています。





詳細情報はこちら



生命科学を理解し、科学的に思考できる人材を育成

生化学や分子生物学を基礎として、微生物からヒトにわたる幅広い生物の生命現象のしくみや機能の解明を行うとともに、それらを応用した食品機能の追求と開発、食品の安全性、バイオマスの利用について教育と研究を行うコースです。多様な生物の生命現象を分子レベルで解明するとともに、生物資源が持つユニークな機能を開発・利用することを目的に教育と研究を行います。生体における遺伝子発現や物質代謝とそれらの調節機構、食品の生体調節機能・栄養機能・物性や安全性について、基礎から専門に至る積み上げ方式で教育を行います。また、多様な生物の生命現象の解明、バイオテクノロジーを駆使した生物機能の改良と有用物質生産システムの開発、生物資源の生理機能や特性の化学的・栄養生理学的解析に基づく機能性食品の開発、食品の品質評価に関する研究を行っています。これらを通して生命科学、食糧科学について基本的な理解を深め、社会で活躍できる思考力と実践力を有する人材の育成を目指しています。

主な進路

〈就職先〉

公務員(県庁、農業試験研究センター、市町村役場、教諭(中学・高校))／民間(山崎製パン(株)、東洋水産(株)、(株)不二家、(株)久原本家、キッセイ薬品工業(株)、積水メディカル(株)、アステラスファーマテック(株)など)／教員(大学)／法人団体(JA、化学物質評価機構など)



詳細情報はこちら



地域を知り、体験し、人々と出会い成長する

国際・地域マネジメントコースは、地域の農業と環境に関わるグローバルな知識と確かな理解に基づいて、農林漁業やその関連産業の持続的な成長に貢献できる人材の育成を目指しています。「地域」は、ごく身近な近所付き合いから市町、県、全国…に至るまで、様々な範囲で捉えることができます。そして、「地域」にはそれぞれ個性があります。そのため、「地域」の問題を考えるには、まずその「地域」のことをよく知ることが大切です。そこで、私たちは実際に「地域」を訪問し、自分の目でよく見て学びます。学ぶ内容は、自然環境・社会・経済・文化など幅広く、そこで暮らす人々との交流を通じて学ぶことを特に大事にしています。このような考えから、本コースでは、国内外でのフィールドワークを重視した特徴ある教育プログラムを用意しています。

主な進路

〈就職先〉

公務員、団体職員(JAなど)、教諭(中学・高校)／民間(アグリビジネス関連企業、金融機関(銀行など)、報道機関(新聞・放送)、農業(農業法人・自営))、NPO・NGO団体

〈進学先〉

大学院進学(佐賀大学大学院など)

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
専門教育科目	学部基礎科目	●生物学 ●物理学 ●化学 ●基礎数学 ●基礎統計学			
	専門導入科目	●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学 ●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学 ●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学			
	専門科目など	●物理化学 ●有機化学 ●分析化学 ●生物有機化学 ●生化学 ●酵素化学 ●微生物学 ●食品衛生学 ●栄養化学 ●食品化学 ●分子生物学 ●化学実験I・II	●食糧安全学 ●食品工学 ●食品機能化学 ●応用微生物学 ●食糧流通貯蔵学 ●水圏生物学 ●分子細胞生物学 ●生物資源化学 ●遺伝子工学 ●基礎放射線科学	●藻類学 ●生命機能科学概説 ●生化学実験 ●微生物学実験 ●インタナショナルS-L ●基礎演習 ●生命機能科学演習I ●専門外書講読	●卒業研究 ●生命機能科学演習II・III ●生物学基礎実験

授業紹介

栄養化学



食品成分の栄養機能性から最近の分子栄養学まで講義し、栄養素がどのように代謝され、どのような役割を果たしているのかの基礎知識を修得します。

化学実験II

食品に含まれる各種成分の分離、分析、定義を行う実験手法、器具の操作方法について学び、科学的な思考を行う能力および観察力を身に付けます。

分子生物学

生命現象に欠かせないタンパク質、核酸(DNA、RNA)の構造と機能、遺伝子の発現、細胞の制御機構について講義し、学びを深めます。

教員紹介

後藤 正利 教授 応用微生物学	小林 元太 教授 分析化学	宗 伸明 教授 分析化学
辻田 忠志 教授 生化学	永尾 晃治 教授 食品科学	永野 幸生 教授 応用生物化学
野間 誠司 教授 食品科学	濱 洋一郎 教授 水圏生命科学	堀谷 正樹 教授 生体関連化学
光武 進 教授 応用生物化学	井上 奈穂 准教授 食品科学	川添 嘉徳 准教授 ケミカルバイオロジー
木村 圭 准教授 水圏生産科学	龍田 勝輔 准教授 昆虫科学	関 清彦 講師 応用生物化学
折田 亮 助教 水圏生産科学	吉田 和広 助教 水圏生産科学	

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	大学入門科目				
	共通基礎科目「英語」				
	共通基礎科目「情報リテラシー」				
	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)				
		インターフェース科目			
専門教育科目	学部基礎科目	●生物学 ●物理学 ●化学 ●基礎数学 ●基礎統計学			
	専門導入科目	●アグリキャリアデザイン ●農学概論 ●農業ICT学 ●生物化学 ●栽培学汎論 ●土壌学 ●生物統計学 ●農業経済学 ●食品科学			
	専門科目	●国際・地域マネジメント入門 ●アジア地誌 ●農村地理学 ●農業市場流通学 ●群集生態学 ●地域再生論 ●地域マネジメント論 ●国定学 ●農業水利学 ●人間開発論 ●社会調査実習Ⅰ・Ⅱ ●フィールド科学基礎実習Ⅰ・Ⅱ ●環境社会学 ●国際地域調査法 ●国際関係学要説 ●栽培環境制御学 ●経済法Ⅰ ●昆虫学 ●経営管理論 ●農業生産機械学 など	●生態人類学 ●農業ビジネスマネジメント学 ●比較農政学 ●開発経済論 ●農村環境計画学 ●農村と産業演習Ⅰ・Ⅱ ●環境と生活演習Ⅰ・Ⅱ ●実践語学 ●アジア・フィールドワーク ●民法Ⅳ・Ⅱ	●インターンシップ S・L ●経営史 ●農村社会学 ●人口学 ●地域資源論 ●アグリビジネス論 ●協同組合論 ●環境法 ●干潟環境学 ●科学英語	●卒業研究Ⅰ ●アカデミック・プレゼンテーションⅠ・Ⅱ ●国際・地域インターンシップ ●卒業研究Ⅱ

授業紹介

国際地域調査法



農業や農村が抱える諸問題に取り組むために必要な調査技法や理論を学び、後期からの授業や卒業で実際のフィールドワークに応用していきます。

農村社会学

地域社会の基礎構造について学び、フィールドワークの際に、その背景となる地域コミュニティの情報を多面的に捉える視点と方法を修得します。

農村と産業演習

農業経営の管理や成長に関わる多岐にわたる課題の中から具体的な問題を設定し、その解決に向け、グループワークによって情報の収集と分析、考察を行います。

教員紹介

辻 一成 教授 農業経済学・農業経営学	藤村 美穂 教授 環境社会学・農村社会学
中井 信介 准教授 文化人類学・地理学	チャン ティウトウイ 助教 農業経済学・経済統計学